

0550

第七六二空機密第十八號

昭和二十年四月一日

# 第二次丹作戦戦闘詳報

昭和二十年三月十一日ウルシー在泊敵航空母艦特攻攻撃

第七六二海軍航空隊

七	六	五	四	三	二	一	
参	功	我	戦	令	経	計	
考	績	が	果	達	過	画	目
		兵	被	報			
		力	害	告			
		現	状				
		状					次

昭和二十年三月九日  
昭和二十年三月十三日  
第二次丹作戦戰鬥詳報

第七六二海軍航空隊

一 計畫

(一) 任務企圖

(1) 作戰命令

GF信令作特第<sup>号</sup>及棧密第一機動基地航空部隊命令作  
特第一號ニ依ル

(2) 自隊作戰計畫

機密第一機動基地航空部隊命令作特第三號別紙(別紙第一)  
機密作特第一號別紙第二)及梓通信計畫(別紙第三)  
通

(3) 作戰準備

(4) 兵力

	飛行機	搭乗員	記事
K二六二	爆装一九機	一七組	一K四〇六搭乗員八名 二K二六二即時機動
K四〇六	爆装一一機	八組	三飛行機八名 備機又各八

(四) 兵装

銀河 爆装 八番通常爆弾一個搭載

機銃装 後上方十三銃旋回銃弾倉三個  
(電探無装備機八前方銃装備)

電探 三式並六号無線電信機

燃料 九一航空揮發油滿載増槽三(翼廂)五四・五

(三) 作戦打合事項

機密第一機動基地航空部隊命令作特第三號別紙(別紙第一) KFB機密作特

第三號(別紙第二)及梓通信計画(別紙第三) 三関之数次ニ涉リ打合セラ實施

セル外攻撃隊誘導隊ノ隊電通話訓練編隊誘導訓練等ヲ實施セリ

## 二、経過

(1) 第二次丹作戦一般経過の概要

二月七日附特令特号依り51Fに對し第二次丹作戦特別攻撃隊

編成ヲ命ゼラル

二月二十日附<sup>149B</sup>命令作特第一號に依り

(1) 七六三空司令對し銀河三四機ヲ以テ特別攻撃隊ノ編成ヲ命ゼラル

(2) 右特別攻撃隊ヲ菊水部隊梓特別攻撃隊ト命名セラル

三之ヲ先二月十九日ハ三六三以四六九五ノ各飛行隊長ヲ宮崎ニ集合シ右編

制ニ関シ予令下打合セラ行ヒ編制ニ着手セリ

四二月二十日梓特別攻撃隊鹿屋集合ヲ命ゼラル

五二月二十日令集合完了

編成要領

指揮官	K二六二飛行隊長	
搭乗員	K二六二一七組	KK四〇六二搭乗員二組 十日附
	K四〇六八組	
計	二十五組	

機材(予備機共)

K二六二	一九機
K四〇六	一一機
計	三〇機

六午後墜屋基地(避退基地築城)ニ於テ数次ニ渉リ綿密ニ作戰打合準備  
ヲ重メルト共ニ機材整備試飛行兵裝改修並ニ誘導機ト通信及誘導  
訓練等ヲ實施セリ

七月二十六日試飛行並訓練飛行中ニ小隊長機(黒髮中尉)墜落炎上殉職セリ  
八月九日昨電令作第五四九号ニ依リ第二次丹作戰發動×日ヲ  
十日ト決定セララル

九 三月十日。六。長官訓示アリ。八。五攻撃隊發進開始直後  
 此レ寫真偵察成果電報錯誤。多ク敵情變化。下判  
 断セシテ攻隊發進ヲ中止セラル

一 GF電令作第。五。號。依リ。第。二。次。母。作。戦。日。ラ。十。一。日。ニ。改。メ。ラル

二 三月十日。九。一。四。機發進所定計畫。基キ。第。二。次。母  
 作戦ヲ決行セリ

三 四。ル。シ。突。入。機。不。一。八。五。五。乃。至。一。九。四。ロ。ニ。テ。夜。暗。ニ。入。リ。攻。撃。ヲ  
 神機稍遠。シ。失。シ。徹。底。的。戦。果。ヲ。收。得。ガ。リ。シ。是。空。母。ヲ。シ。ル  
 外。相。善。ノ。戦。果。ヲ。舉。ゲ。ラ。リ

一 詳。細。戦。斗。経。過。之。詳。記。ス

四 戦。斗。経。過

十一  
 八五五  
 九一四  
 銀河二十四機鹿屋基地發進

第一誘導隊(八〇二空飛行艇二機)ト合同  
 九二五 銀河三機 子三機 佐田輝發 前進撃開始  
 (指揮官機視界内(五二機))  
 一〇二〇 南大東島(五〇機)視界内機  
 一〇二〇 九〇型増補燃料引カブルヲ佐田輝發 100%引込ス  
 一一一〇 九〇鹿屋着  
 一一一〇 九 南大東島上空附近三機 赤松形ヲ十分間旋回H二〇〇米  
 一一二〇 (指揮官機視界内機(五二機)反轉)  
 (註) 最後ヨリ續行途中反轉在100%自機ヲ念五機  
 編隊前方ニ機縮隊ヲ視認シテ以テ全機  
 視界内ニ連繫ヲ保持シ進撃ニテハ正確アリ  
 誘導機交代  
 一一三〇 南大東島發進々撃手



一四五	1/2 發動機故障引返ス
一一一〇	南大東島基地ニ不時着小破人員無事
一一五〇	1/2 左發動機故障引返ス
一一一五	南大東島基地ニ不時着機体人員異状ナシ
一一五〇	1/2 左發動機故障片舷飛行引返ス
一一三〇	南大東島基地ニ不時着大破人員無事
一一〇〇	1/2 右發動機故障片舷飛行引返ス
一二五〇	南大東島上空經由那覇ニ向フ
一六一五	途中天候障害片舷飛行困難ノ感宮古島ニ向ヒ
一二三〇	左基地着脚出デガル為海中ニ不時着大破人員無事
一二三〇	1/2 右發動機故障燃費過大引返ス
一三三〇	南大東島基地ニ不時着大破搭乗員電一名 軽傷以外無事

一三三。	左發動機故障沖繩ニ向フ
一七四五	沖繩小祿基地着
一三四。	推定位置沖ノ島島(但視認シオラズ) 指揮官機視界外銀河十六機確認 Hニ〇〇〇米 予信あり
一五一。	推定位置沖ノ島島ノ170°ニテ雲下ニ出ルH三〇〇米 我發動機故障
一五三。	指揮官機視界外銀河一五機飛行艇一機
一七一。	推定位置「ヤツ」ノ315°ニ於テ敵輸送船團ヲ真向ニ 発見(兵力FX CXI DXI 3機)九〇度ニ要針 (飛行艇「ヤツ」ノ310°30'兵力AX AXIト報告)
一七二五	「ヤツ」ニ向フ
一七五。	日没針路一八〇度

一八三〇	<p>「一八〇〇ヤツプ到着ノ予定」ヲ打電        (飛行艇五台様打電セリ)        「ヤツプ近誘導サレ度」打電        「ヤツプ」ヲ認ム        指揮官機視界外銀河一五機飛行艇一機        飛行艇分齊南下        飛行機隊「ソルシ」ニ向フ</p>
一八五五	<p>「ソルシ」在拍敵機動部隊攻撃決行</p>
一九四〇	<p>「ソルシ」飛行「ソルシ」島ニ不時着大破</p>
一九〇七	<p>線電戦死偵察傷</p>
一八五五	<p>「ソルシ」方向ニ火柱一本ヲ認ム</p>
一八五六	<p>「全軍突撃」セリ下令ス</p>

一八五八	ウルシ小泊地ノ灯火ニヲ認ム其ノ對シニ機休當取行 セルヲ確認其ノ火柱内ニ艦船ノマストトラシキモノヲ視認ス
一九一〇	ウルシニ火柱一本ヲ認ム
一九三五	ウルシニ火柱一本ヲ認ム
二〇〇五	暗夜ニテ目標視認不能ヲタメ攻撃断念爆彈ヲ灯火 ト思ハル附近ニ投下(不發)「ヤツ」ニ向フ
一八五五	「ヤツ」基地着 輕覆大破人員無事
一八五七	ウルシトニ方向火柱一本ヲ認ム(視認方向ヨリ巨聲アリ)
一九二七	前記火柱ノ北方ニ更ニ火柱二本同時ニ上ルヲ認ム 更ニ前記同一方向ニ火柱二本ヲ認ム 暗夜ニテ目標視認不能ヲタメ攻撃ヲ断念 爆彈ヲ海中ニ投下ス(不發)
二〇〇〇	「ヤツ」島着

九〇〇	ワツノカガニ於テ北方ニ火柱ニホクヲ認ム 暗夜ニ目標視認不能ク多ク攻撃ヲ断念シ海中之 投下ス
一九四五	ワツノ第ニ飛行場着陸誘導中高度ノ判定ヲ誤リ北方 中腹ニ接地火破 操無事偵重傷、墜軽傷
十三日 一二二九	ワツノ(三六号)沖繩發
一七〇五	鹿屋着
十三日 〇八三〇	ワツノ(四〇号)南大東島發鹿屋ニ帰投
十三日	ワツノ(四六号)十三日修理完成十五日鹿屋ニ空輸ス 其他在南大東島搭乗員八〇三空零式輸送機便ヲ乘 〇八五五南大東島發一三〇鹿屋着
十四日	在ワツノ搭乗員十名八二四号一機ニ搭乗ワツノ

0563

發鹿屋ニ歸投セリ  
 十七日 谷塔兼貞定期復々兼一五三。宮吉發那霸着  
 二十三日 〃〃〃那霸發鹿屋着

未飯環機戦士経過			戦士経過		
機番号	配置	氏名	経籍	戦	経過
14/22	操 復 電	七曹 大久保次郎	横	〇九一〇。鹿屋基地發進後消息ナキ帰還者ノ報告ヲ綜合ナシテ、加達者、報告ヲ綜合スルニ戰場ニ到達スルニ算入ニシテ壯烈ナル自爆戦死ヲ遂ゲタルモノト認ム	〇九一〇。鹿屋基地發進後消息ナキ帰還者ノ報告ヲ綜合ナシテ、加達者、報告ヲ綜合スルニ戰場ニ到達スルニ算入ニシテ壯烈ナル自爆戦死ヲ遂ゲタルモノト認ム
14/30	操 偵 電	七曹 王井良登	佐	〇九一〇。鹿屋基地發進後消息ナキ帰還者ノ報告ヲ綜合スルニ、八五五頃、〇九一〇。鹿屋基地發進後消息ナキ帰還者ノ報告ヲ綜合スルニ、八五五頃、	〇九一〇。鹿屋基地發進後消息ナキ帰還者ノ報告ヲ綜合スルニ、八五五頃、
26/42	操 偵 電	七曹 早坂次	横	〇九一〇。鹿屋基地發進後消息ナキ帰還者ノ報告ヲ綜合スルニ、八五五頃、	〇九一〇。鹿屋基地發進後消息ナキ帰還者ノ報告ヲ綜合スルニ、八五五頃、
26/42	操 偵 電	七曹 宮澤宏男	横	〇九一〇。鹿屋基地發進後消息ナキ帰還者ノ報告ヲ綜合スルニ、八五五頃、	〇九一〇。鹿屋基地發進後消息ナキ帰還者ノ報告ヲ綜合スルニ、八五五頃、
26/42	操 偵 電	七曹 西川茂勝	横	〇九一〇。鹿屋基地發進後消息ナキ帰還者ノ報告ヲ綜合スルニ、八五五頃、	〇九一〇。鹿屋基地發進後消息ナキ帰還者ノ報告ヲ綜合スルニ、八五五頃、
26/42	操 偵 電	七曹 岩崎幸三	佐	〇九一〇。鹿屋基地發進後消息ナキ帰還者ノ報告ヲ綜合スルニ、八五五頃、	〇九一〇。鹿屋基地發進後消息ナキ帰還者ノ報告ヲ綜合スルニ、八五五頃、
26/42	操 偵 電	七曹 阿南正範	佐	〇九一〇。鹿屋基地發進後消息ナキ帰還者ノ報告ヲ綜合スルニ、八五五頃、	〇九一〇。鹿屋基地發進後消息ナキ帰還者ノ報告ヲ綜合スルニ、八五五頃、
26/42	操 偵 電	七曹 高久健一	横	〇九一〇。鹿屋基地發進後消息ナキ帰還者ノ報告ヲ綜合スルニ、八五五頃、	〇九一〇。鹿屋基地發進後消息ナキ帰還者ノ報告ヲ綜合スルニ、八五五頃、
26/42	操 偵 電	七曹 下楠園 緑	佐	〇九一〇。鹿屋基地發進後消息ナキ帰還者ノ報告ヲ綜合スルニ、八五五頃、	〇九一〇。鹿屋基地發進後消息ナキ帰還者ノ報告ヲ綜合スルニ、八五五頃、
26/42	操 偵 電	七曹 馬場 一雄	横	〇九一〇。鹿屋基地發進後消息ナキ帰還者ノ報告ヲ綜合スルニ、八五五頃、	〇九一〇。鹿屋基地發進後消息ナキ帰還者ノ報告ヲ綜合スルニ、八五五頃、
26/42	操 偵 電	七曹 吉岡 賢	横	〇九一〇。鹿屋基地發進後消息ナキ帰還者ノ報告ヲ綜合スルニ、八五五頃、	〇九一〇。鹿屋基地發進後消息ナキ帰還者ノ報告ヲ綜合スルニ、八五五頃、

ZL 2/7e	ZL 1/7e	ZL 2/6e	ZL 1/6e	
電 偵 操	電 偵 操	電 偵 操	電 偵 操	電
飛曹 飛曹 飛曹	飛曹 飛曹 大尉	飛曹 飛曹 飛長	飛曹 飛曹 飛曹	飛曹
三田清馬	大尉 福田幸悦	三田清馬 西田信義	林 榮一	新井喜一
佐	吳	吳	佐	吳
突入壯烈ナル自爆戦死ヲ遂ゲタルモノト認ム	〇九〇鹿屋基地奔逸後消息至テ帰還者ノ報告ヲ綜合スルニ 〇九〇島ノ到達セルヲ確定シテ小隊長長杖ノ行動ヲ其ノ敵ニ	同 右	同 右	〇九〇鹿屋基地奔逸後消息至テ帰還者ノ報告ヲ綜合スルニ 〇九〇島ノ到達セルヲ確定シテ小隊長長杖ノ行動ヲ其ノ敵ニ



	4L/11R	2/10R	4L/10R	3L/8R
操 三飛曹 原田照和佐	偵 少尉 福島元康	偵 上飛曹 原田幸男	偵 大尉 大岡高志	偵 中尉 根尾久男
電 飛長 中野至康	操 三飛曹 磯部定男	電 一飛曹 斎藤善實	操 一飛曹 松本義友	電 三飛曹 桐畑人明
横	横	佐	横	舞
同 右	同 右	共ニ敵ニ突入壯烈ナル自爆戦ヲ遂ゲタルモト認ム	〇九〇鹿屋基地奔進後消息ナキモ帰還者ノ報告ヲ綜合セルニ「ウルシ」島ニ到達セルト確実ニシテ小隊長機ト行動ヲ絡ヲ絶テリ同時刻敵ニ突入壯烈ナル自爆戦死ヲ遂ゲタルモト認ム	〇九〇鹿屋基地奔進一八三〇頃隊内電話ニ依リ小隊内各列機宛「皇國ノ興衰ハ掛リテ此ノ壯舉ニアリ全機ノ心中ヲ確信スヲ送信セルヲ指揮官機ニテ傍受セリ帰還者ノ報告ヲ綜合セルニ「ウルシ」ニ到達セルト確実ニシテ中隊長機ト行動ヲ共ニ一九四〇ソ、降連

4990

2  
112

電 偵

三 飛 飛  
曹 長

高 松  
辻 井  
直 光  
大 明

佐 横

同  
右

攻撃後各機状態一覽表

機番	機番	状態	機材	搭乗員
一区隊 一番機	〃 二番機	ヤヅ島ニ不時着ス 南大東島ニ不時着ス(一ニ一〇)	大破	無事
二区隊 一番機	〃 二番機	發動機故障ヲ報ジテ後突入セル算アリ 宮古島ニ不時着ス(一六一五)	未帰還	突入自爆戦死算アリ
三区隊 一番機	〃 二番機	ヤヅ島ニ不時着ス 一九四五不時着ヲ報ス	異状ナシ	無事
四区隊 一番機	〃 二番機	敵ニ突入 同 右	未帰還	不明
五区隊 一番機	〃 二番機	南大東島ニ不時着ス(一ニ三〇) ルモンゴ島ニ不時着ス	大破	無事
六区隊 一番機	〃 二番機	敵ニ突入 同 右	未帰還	突入自爆戦死

計 三四機	七区隊 一番機 二番機	八区隊 一番機 二番機	九区隊 一番機 二番機	十区隊 一番機 二番機	十一区隊 一番機 二番機	十二区隊 一番機 二番機		敵ニ突入 同右 同右 同右 同右 同右 南大東島ニ不時着ス (一三三〇) (二二一五)	未帰還 異状ナシ 大破 小破 未帰還 異状ナシ	未帰還 未帰還 未帰還 未帰還 未帰還 未帰還 未帰還 大破 異状ナシ	戦死二名 重傷一名 軽傷三名 突入自爆戦死二組 突入自爆戦死八組 不明一名 及他三名	突入自爆戦死 突入自爆戦死 突入自爆戦死 突入自爆戦死 突入自爆戦死 突入自爆戦死 突入自爆戦死 軽傷一 無事二 無事
----------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	--------------------	--------------------	--	---	--	---	--	--

## 攻撃後各機状態一覽表

機番	機別	状態	機材	搭乗員
一区隊	一番機	ヤヅ島ニ不時着ス	大破	無事
〃	二番機	南大東島ニ不時着ス(一三〇)	小破	無事
二区隊	一番機	發動機故障ヲ報ジル後突入セル算アリ	未帰還	突入自爆戦死算アリ
〃	二番機	宮古島ニ不時着ス(一六一五)	大破	無事
三区隊	一番機	ヤヅ島ニ不時着ス	異状ナシ	無事
〃	二番機	一九四五不時着ヲ報ズ	未帰還	不明
四区隊	一番機	敵ニ突入	未帰還	突入自爆戦死
〃	二番機	同 右	未帰還	突入自爆戦死
五区隊	一番機	南大東島ニ不時着ス(一三三〇)	大破	無事
〃	二番機	ルモンゴ島ニ不時着ス	大破	戦死ニ軽傷一
六区隊	一番機	敵ニ突入	未帰還	突入自爆戦死
〃	二番機	同 右	未帰還	突入自爆戦死



ウルシー攻奪行動図  
五区隊一番隊(T93号)

離陸 0900  
佐多岬 0920 発進

種子島  
CCO 180  
H 1000  
TA 140  
V8 148

エンジン  
ウレ  
ウコ 800  
シカ 15 哩

時刻	行動概要
0920	佐多岬 発進
1115	南大東島 通過
1150	左隊 動機 不調 引返す
1230	南大東島 不時着
1300	
0845	虹ヶ崎 ス=7 発
1730	鹿屋 帰還

左エンジン  
油漏れ

エンジン  
ウレ  
ウコ 1400  
シカ 20 哩

編隊集合 爲 南  
大東島 上空  
一旋回

北大東島

11-15 南大東島 到達  
11-25 左 40 要針

南大東島 不時着  
CO 145  
H 1500  
TA 135  
V8 150

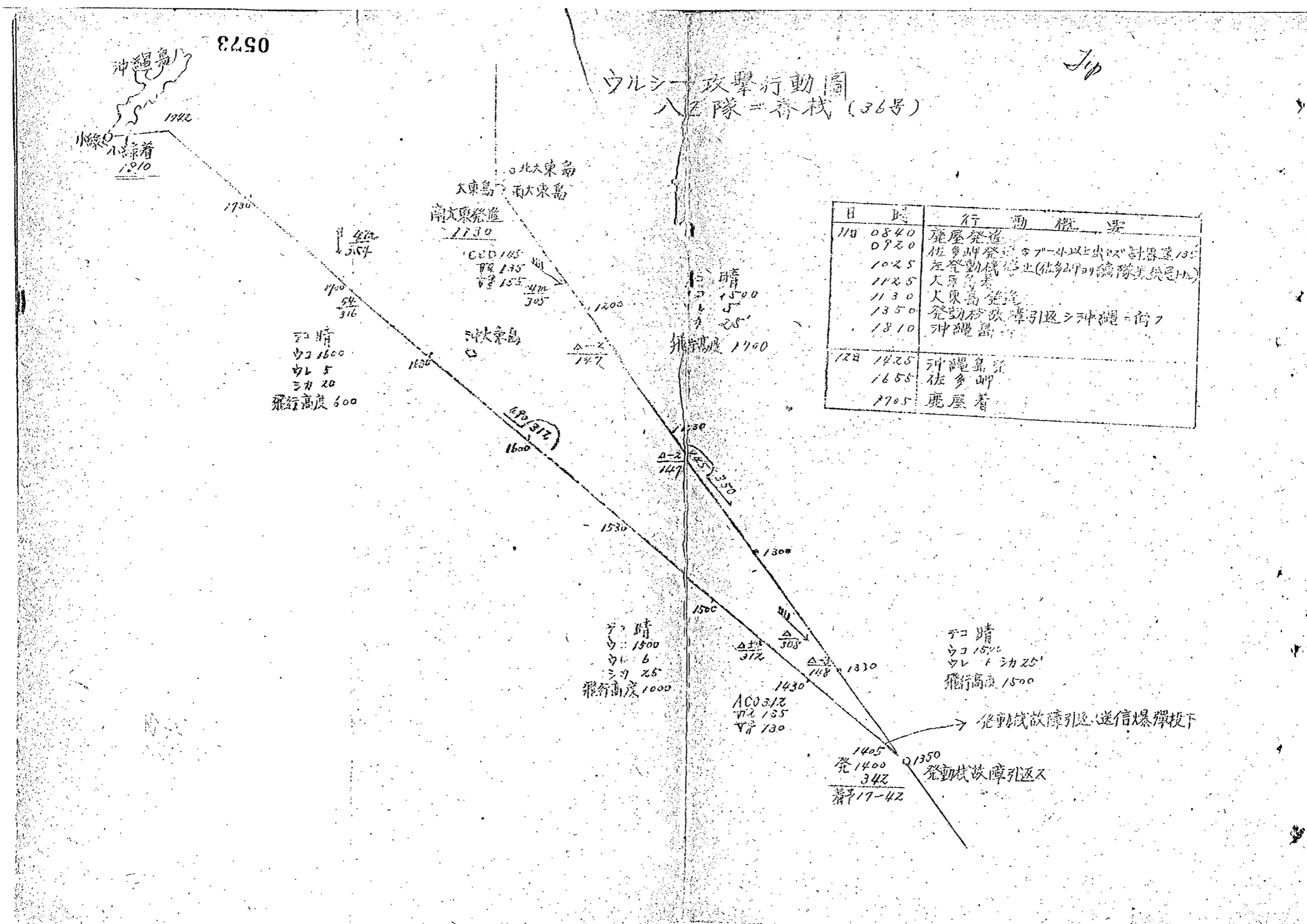
CO 325  
H 700  
V2 125

11-50 (南大東島 3160 哩)

エンジン 不調 爲  
引返す

至 沖島 島

0572

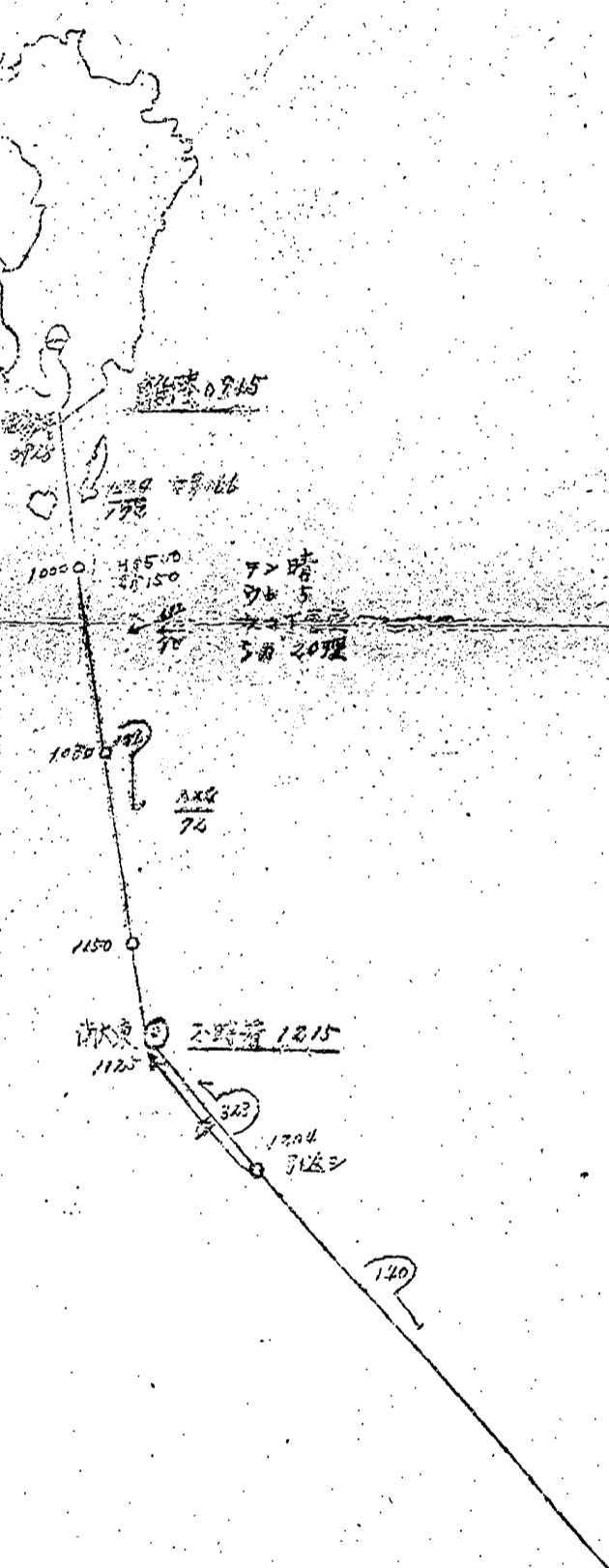




7  
JTD

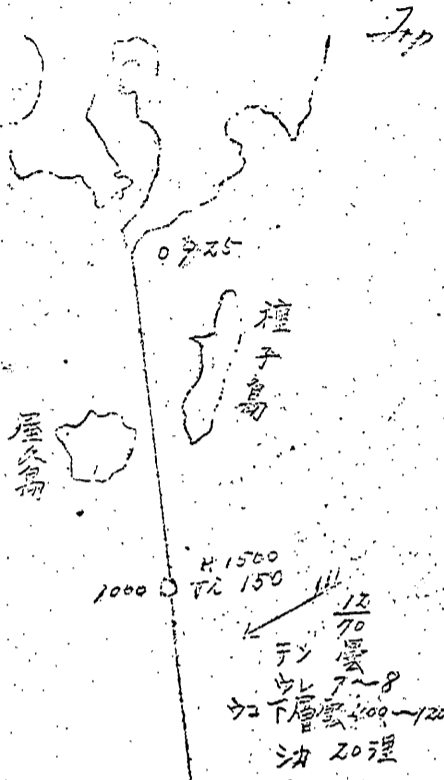
# ウルシ一攻撃行動図 12区隊之巻帳 (40号)

時刻	行動概要
0928	南大東島通過
1800	南大東島通過
1125	南大東島通過 (1100時頃左舷動機停止)
1150	左舷動機停止、黒煙振動、環状火に燃費を大に為し、不時着を決定せり
1204	南大東島135度110度、地突爆弾投下
1215	南大東島に不時着、機体人員共異常ナシ
	燃費 左 520L 右 280L

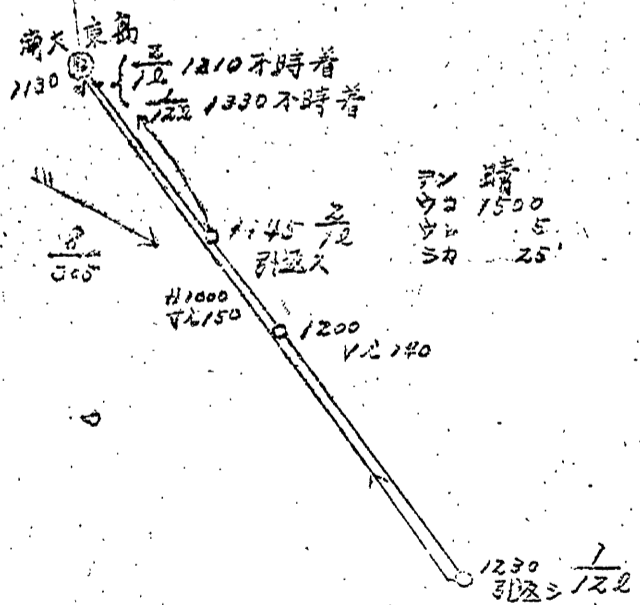


0574

ワルシ-攻撃行動圖  
 三月十一日  
 1 区隊 2 番機 (T68号)  
 12 区隊 1 番機 (22号)



時刻	行動概要
0840	1 区隊 2 番機 進
0825	12 区隊 1 番機 進
1130	12 区隊 1 番機 過
1145	12 区隊 1 番機 故障 引返
1200	12 区隊 1 番機 故障 引返
1210	12 区隊 1 番機 故障 引返
1230	12 区隊 1 番機 故障 引返
1330	12 区隊 1 番機 故障 引返



0575

<p style="text-align: center;">P GF</p>	<p>發 日 時</p>
<p style="text-align: center;">P SAF</p>	<p>宛  (通報)</p>
<p style="text-align: right;">二月十七日</p> <p>聯合艦隊司令部特第一號      一 第一航空基地航空部隊指揮官ハ麾下兵力中      銀河約三機ヲ基幹トシテ特別攻撃隊ヲ編成シPU      投下ハ準備セムベシ      二 實施時機ハ敵機動部隊ハPU帰投在泊時ニ投ズル      モトシテ特令ス      三 進撃航路ハ左ニ依ル      第一案 九州—沖繩—PU      第二案 関東—GMK—PT—PU      四 事前偵察及戰果偵察ハ内南洋部隊彩雲隊      ヲシテ協力カセシム</p>	<p>令 達 報 告 等</p>
<p style="text-align: center;">書 文</p>	<p>種 別</p>

三、令達報告等

	P /KFGB	P /KFGB	
二月二十日	二月二十日 七六三空司令	二月二十日 七六三空司令	五本作戰ヲ母作戰(第二次)ニ呼稱ス
聯合艦隊信令作特第二號	機密第一機動基地航空部隊命令作特第二號 梓特攻隊八成ル可ク速ニ鹿屋基地ニ進出待 機スベシ	機密第一機動基地航空部隊命令作特第一號 一、第六海軍航空司令八陸爆二機ヲ以テ特別攻 撃隊ヲ編成スベシ 二、右特別攻撃隊ヲ菊水部隊梓特別攻撃隊ト 命名ス	終
	書 文	書 文	

P  
G F

P  
3-A F

- 一 第一機動基地航空部隊指揮官ハ丹作戦ニ於テ  
ル天候偵察特別攻撃隊教導ノ爲ニ墜下飛行  
艇約三機ヲ以テ挺身偵察ヲ準備セムベシ
  - 二 丹作戦特別攻撃隊ノ攻撃時機並ニ攻撃手種別  
ノ案機動基地航空部隊指揮官所定トス
  - 三 進撃航路ヲ九州トPTMト予定ス
  - 四 丹作戦部隊收容基地ヲPTM PTY PTトシ潜水艦配備  
ヲ左ノ通ニ定ス
  - (1) 沖ノ島島PTY連結線上ニ潜水艦一隻ヲ配備シ  
誘導並ニ不時着機收容ニ備フ(配備位置、浮上  
時刻、誘導電波等ノ細目関シハ後令ス)
  - (2) PTN PTYニ機宜潜水艦ヲ派遣シ揚夜搭乗員ヲ收容ス
- 五 PU方面氣象通報ハPTYニ於テ毎日〇三〇〇、〇六〇〇
- 書

	$\frac{P}{/KFGB}$	
二月二十七日	二月二十五日 七六三空司令	
機密第一機動基地航空部隊機密作特第一號 畧 (別紙第二)	機密第一機動基地航空部隊命令作特第三號 根據地ニ覆滅スベシ 機密第一機動基地航空部隊主力ヲ其 根拠地ニ覆滅スベシ 機密第一機動基地航空部隊命令作特第三號 別紙 (別紙第一)	一〇〇〇・一四〇〇・一八〇〇・二二〇〇ノ実況ヲ放送セシムルト 共ニ内南洋部隊彩雲隊ヲテ當日PU天候偵察 ヲ実施セシムル予定(偵察時刻ハ後令ス) 終
	書	文

共符

三月九日二二〇

GF

CAF

CAF 大海参 一部長

機密第〇九一六三番電

UNB 戦斗概報特四號(九日)

彩雲一機(三木大尉機)〇五分發。九時一〇分四五艦行

偵察一三四五帯着目視状況左通(討着萬慶

九六〇米天候晴視界六〇并)

(イ) A 南東戦艦五飛行艇約四〇

(ロ) A 西西部ヨリ B 東部正規空母七(何レモエ七

クス型)戦艦一(ワシントン型) B 南部〇二三北部

補助特空母九(カサブランカ型)空母八何レモ一團ト

ナリテ碇泊シアリ

(ハ) C 二三 D 四 E 五 F 六 輸送船大中小多数

駆逐艦若干アリモ P-38 四機ノ追躡ヲ受ケ

的確ナル数則明カス

線

無

<p>共符</p>	
<p>三月十日 P/JAF 大海参二部長 P/JAF P/6F</p>	
<p>機密第一〇五三〇番電 ? 戦半概報特四部附加九日「ワルシ」偵察写真 (ニセキチ垂直写真極々鮮明) 判續結果左記ノ通 (A北西部 B 東北東部 正式空母 (エセックス型) 特空母ニウ (内一インデペンデンス型一不明)</p>	<p>(内) フラップ島ノ六。度約四。哩ニ航行中ノ空母四隻 (内一ハロキシントン型他ハ艦型不詳) 戦艦三、駆逐艦数隻 輪型陣ニテ針路南 速力 一四節 二、写真判讀ノ結果ハ後報ス 三、機材ノ都合ニ依リ明日天候偵察ヲ取止メ明後十日 日戦果偵察ヲ実施ノ予定</p> <p>終</p>
<p>線</p>	<p>照</p>



		<p>戦艦ニ(ワントン型)六巡 四特務艦 三 輸送船大型      一 中型</p> <p>四 作戦位置 四 癸大艇 三十一</p> <p>(ロ B22 東南部 正規空母四(内サトカ型一、エセツクス型三) 巡改改二(エンデネス型) 特空母一 戦艦一(ワリフォルニア型) 六巡一 輸送船大型 三(ハ C2) 戦艦五(テイオウ型ニワントン型コロラド型 一不明) 六巡五 油槽船大型一)</p> <p>A24 東部特空母四(カサブランカ型及チャイラー型) 輸送船大一(ホ) F25 特空母一(北上出港準備) 輸送船大ニ九 油槽船大一(ハ) F26(西ノ) 輸送船大 三 中一 油槽船大ニ(ハ) 南西部西ノ 輕巡一 輸送船中三 小三</p>
線	雲	

<p>共符</p>	<p>共符</p>	
<p>三月十日 P SAF</p>	<p>三月十日 伊五八 (大海参一部長) P AF P AF</p>	
<p>機密第一〇〇四の發電 發 師司令長官 宛 第二次丹作戦部隊 今日茲ニ敵機動部隊殲滅、神機ヲ把握セリ</p>	<p>第二次丹作戦護動メヨヲ十日トス 機密第一〇三三番電 F電令取第五四九號 終</p>	<p>空軍偵察マラノ島ノ六ノ度四ノ深空 母四(艦型不詳)B13ノ数隻入港中モノ確実 北西部約1/4ノ2撮影残り港外油槽船三隻 テマテノ不明 終</p>
	<p>線 無</p>	

宮古	共符	
三月十二日 〇一四五 宮崎 鹿屋 戸 戸	三月十日 一四四五 戸 戸 戸 (大海参一部長)	伊五八 戸 戸 大海参
機密第一二七〇六番電 弁 渡久山上飛曹 宛 七六二空司令 攻撃第六二第三七機發動機故障、爲宮古海 岸不時着機体大破セシテ無事 終	機密第一〇三三番電 戸電令作第五五〇號 第二次丹作戦又日ヲ十日ニ改ム 終	一同殊死奮戦誓言ッテ驕敵ヲ必殺神州護 持ニ邁進スベシ 終
	泉 無	線 無

<p>共符</p>	<p>鹿屋 ☐</p>
<p>三月十二日 〇四三五 101stF 指揮官新在留所 戸 5AF (一〇ニ空)</p>	<p>三月十二日 〇二二五 南大東 宮崎 小祿 ☐☐☐</p>
<p>機密第一二二三七番電 聯合艦隊電令第五五四號 第百一航空戰隊司令官ハ適宜麾下輸送機ヲ シテ南大東島ニ不時着セル丹作戰部隊搭乗 員(銀河四機)ノ收容ニ関シ第五航空艦隊司令 長官ノ指揮ヲ受ケンムベシ 終</p>	<p>機密第一二二三五番電 護 5AF 参謀 貴地ニ不時着セル銀河整備ノ為差当リ必要ト スル整備員所要數至急通知アリ度尚小破機 ノ破損程度及所要部分品モ通知ヲ得度 明一二日一三〇以後輸送機ヲ派遣ノ予定 終</p>
	<p>總 監</p>

鹿屋	共符	ヤツ
三月十二日 一七二〇 南大東	鹿屋 宮崎	三月十二日 〇九四五 南大東 小緑 鹿屋 トラク メレオン (三の特根)
機密第一二一五五番電 宛攻撃二六三飛行隊 攻口中尉	機密第一二一三五五番電 在「ヤツ」基地搭乗員 黒丸大尉、富永澄合 飛曹長、左記北村上飛曹、鈴木一飛曹以上無事 出山一飛曹、重傷、高橋豊二飛曹、藤井俊太郎 一飛曹以上軽傷外一組調査中	機密第一二一五五番電 二四二五、三四號機(ヤツ)着、二五三四號機着 陸時大破(搭乗員無事)明朝〇六〇〇、二四號機 南大東島へ向て發
線	線	線

<p>共符</p>	<p>鹿屋 口</p>	
<p>三月十二日 一九〇〇 戸 戸 GF GF P P CAF CAF (大海参一部長)</p>	<p>三月十二日 一八二三 宮崎 口</p>	<p>(宮崎 口)</p>
<p>機密第一二四四の巻留 UNB 戦斗概報特第五號(十二日) 彩雲一機(三ホ大尉機)〇四〇八〇〇一〇八五 ウルシー戦果偵察一三一。着目視状況左通 (計器高度九三〇。米視界五〇。湮快晴) 一在泊艦船 正規空母五 特空母約一二(内入港中)</p>	<p>農漁造隊指揮官 三六號機(大林上飛曹)昨日一八〇。沖繩ニ不時着 本日一七〇。鹿屋ニ帰着セリ</p> <p>終</p>	<p>夜七六二空鹿屋派造隊指揮官 本日派造、虹輸送機、便三搭乗員全員鹿屋ニ帰 還セリ</p> <p>終</p>
<p>線 共</p>	<p>線 共</p>	<p>線 共</p>

共符	
鹿屋 三月十五日 一九三〇	
宛 峯 参謀 二四号機、出撃ヲ延期ス	<p>一、(一) 戦艦約七隻、巡洋艦約二〇隻(内入港中ノモノ七隻) 輸送船(大中小) 約五〇隻</p> <p>二、敵艦船碇泊状況九日、爾前偵察ト殆ト変化ナシ、湾内一般ニ平靜ニシテ小舟艇、往復モ頻繁ナラス、出港ノ氣配ヲ認め、油ノ浮流三箇所アリシモ沈没艦ノ跡トモ思ハレズ</p> <p>三、アラップ島飛行場飛行機ヲ認め、敵機ノ数ナシ、対空砲火若干アリシモ熾烈ナラス、垂直寫真判讀ノ結果後報</p> <p style="text-align: center;">終</p>

<p>南大東 田</p>	
<p>三月十二日 二〇四〇 鹿屋 田 (小緑 田)</p>	
<p>機密第一二〇七八番電 宛 佐 参謀長 滑走路地面軟弱、爲破損一二〇五〇引揚 作業終了破損箇所及必要部分品 一 右脚收納扉(内外側共)一 二 右油冷却機漏洩 三 點火栓二機分磁石弁電機三個 終</p>	<p>天氣圖作成不可能ニ付、貴基地ト直接連絡 致シ度、貴地呼出符号知ラサレ度 呼出符号(呼甲八)暗号書(〇ヨロ)台公印 (現有水晶六二五Kc六五八〇Kc) 毎日、天氣見込ヲ暗号書(〇ヨロ)ニテ知ラサレ度 終</p>
<p>線</p>	<p>線</p>



共符

三月十三日  
〇九三〇

大海参(部長)  
P/SAF

P/SAF P/GF

機密第一二三四番電

UNB 戦斗概報特第五號(追加其一)

十二日ウルシー偵察写真判讀(五糧垂直)左通

(母艦部)

AZ/西部ヨリ東半部ニ亘リ正規空母八(エセックス型六

サトガ型一エンタープライズ型一)巡改空母四(イネンダ

ンス型)特空母(三)事前偵察時、母艦依然トシテ

其ノ位置ニアリヨク特空母(四)事前偵察時ト

同一位置ニテ他ニ礁外ニ特空母一

アリシ事確實ナリ

何モ損傷傾斜ノ様子ヲ認メズ又重油漏洩

ヲ認メズ

終

線

無

共 蔭

鹿屋 宮崎

三月十三日  
一二三〇

機動隊  
梓戦斗速報(飛行機隊ヲ含マズ)

一銀河(九〇五)一四〇の間三度実施

一八五五(一個)一八〇五(三個)一九三七(三個)計五火

柱(落合飛曹長確認)

一八五五(一個)一四号機ヤツヲ着後(九二五(一個))

計二火柱(富永飛曹長確認)

二一七四五日(三月十九日)ノ為目標確認

不能ルヲ以テ地上燈火ニ對シ攻撃後ヤツ

二着陸セヨト二機(二五号機大破三四号機無)

事)ヤツヲ海岸ニ不時着陸セヨト二機(三四号

機大破一機調査中)

三在ヤツノ基地搭乗員

無

線

<p>四六警備隊</p>	<p>メレヨン ☒</p>	
<p>三月二十五日 三〇特根 戦艦着艦 P SAF</p>	<p>三月十六日 一四四〇 P SAF (八〇一空)</p>	
<p>四六警備隊密第三一七五番電 四六警備隊概報第八號 一、二、三日〇九三〇 F4F-3 TBF-2 PBY-1 八機 一五〇 PBM-1 三 機 未襲第一第二飛行場及覆銃爆撃何レモ</p>	<p>機密第一三一五〇三番電 任務終了セルアツサ特攻隊〇二号六艇(機械故障離水不可能)搭乗員十二名收容セリ 終</p>	<p>黒丸大尉 富永飛曹長 落合飛曹長 佐木上飛曹 北村上飛曹 鈴木(飛曹以上無事) 出山一飛曹(重傷) 高橋豊三飛曹 藤井順太郎 一飛曹(以上輕傷) 他一組調査中 終</p>
	<p>線 爲</p>	

被害ヤシ

二一三日一ニ〇日「ヤツブ島」附近ニ破損セル敵艦  
船ノ舟敵備品食糧等浮遊物多シ一〇日  
「銀河」ヲウルシ島」攻撃ニ関聯シアルモノト  
判断ス

終

四 戦果及被害

一 戦果

一、五八指搦官機ヲ停岸ニ檢テ確認ス。機上ニテ一八九五ヨリ七三七間ニ  
 火柱延十一本ヲ確認シ、マツ島陸軍見張テ一九四ヨリシノ方向ニ大火  
 柱一分間持續更ニ五分後大火柱三分間持續セルヲ確認セル外不明ニ  
 呉鎮機密三二〇九五八番號ニ捕虜訊問速報)及四六號機密三二  
 三七五番號(四六號機密)十後報第八二號)ニ依テ概テ如キ事實  
 判明シテ

一、三月十二日(ワルシ)出港(三ノ刺)日本機密機密(三ノ刺)ニ機命中飛行  
 甲板後部三分一破損甲板上ニ飛行機燒失(呉鎮捕虜訊問速報  
 其ノ三)

二十三日(三月)マツ島附近ニ破損シテ敵艦形ノ舟艇備品食糧等浮遊物多シ  
 十日銀河口ヨリシノ島攻勢(四六號機密)判明(四六號機密)報第八二號)

二被害

の機材

大破 六機 小破 一機 未帰還 一三機

の搭乗員

戦死 二名 重傷 一名 軽傷 三名

突入自爆戦死 一組 (三十三名)

算大九一組 (三名)

不時着行方不明 一組 (三名)